



はじめに

木のある空間に足を踏み入れたとき、ふっと息がゆるむ感覚。
やわらかな光、木肌のぬくもり、時を重ねて深まる表情。
それは、単なる「空間」ではなく、
人の営みや記憶にやさしく寄り添う「風景」のようでもあります。

本書『木とともに創る105のデザイン』では、木の魅力を活かした日本全国の建築・空間の実例を紹介しています。

それぞれの事例には、地域に根ざした素材や技術の継承、使い手の心地よさへの配慮、そして木の可能性を広げようとする作り手たちの思いが込められています。

掲載されているのは、2024年に第10回を迎えた「ウッドデザイン賞」の受賞作品の中でも、とくに国産木材を多彩に、かつ豊かに使い、その空間の魅力を伝えているものばかりです。技術や構法、デザインの工夫に加え、木がもたらす感覚的な心地よさや、地域との関わりなど、さまざまな視点から「木の空間」の魅力をひもといています。

木は、ただ建物を支える建築材料ではありません。

人と人、人と場所とのつながりを育みながら、時とともに価値を深めていく、「生きた素材」です。

この本を通して、木の空間がもたらす豊かさと、そこに込められた人々の工夫やまなざしの温かさに、そっとふれていただけたら幸いです。

最後に、本書の企画・編集にご協力いただいた、ウッドデザイン賞の運営母体である一般社団法人日本ウッドデザイン協会の皆様に、心より感謝申し上げます。

CONTENTS もくじ

はじめに	003
もくじ	004
本誌の見方	009

木
造

■ 店舗・商業施設	
01 HULIC &New GINZA 8	010
02 蒜山そばの館	012
03 Gビル自由が丘01 B館	014
04 椿茶屋	016
05 mother's+ (マザーズプラス)	018
06 神水公衆浴場	020
07 池袋西口公園 GLOBAL RING CAFÉ	022
08 CO-A Village	024
09 LIFE & CULTURE MARKET L/C	026
10 星乃珈琲店 美しが丘店	028
11 OYAKI FARM BY IROHADO	030
12 睦モクヨンビル	032
13 銀座高木ビル	034
14 豊洲 千客万来	036
■ オフィス・会議施設	
15 北海道地区FMセンター	038
16 Port Plus 大林組横浜研修所	040
17 ジューテック本社ビル	042
18 面白法人カヤック社屋 研究開発棟・ぼくらの会議棟	044

木
造

19 ささしま高架下オフィス	046
20 KITOKI	048
21 AQ Group 茨城支店 ※「旧：つくば支店」支店名変更	050
22 シネジック株式会社 新築オフィス	052
23 ZOZO本社社屋	054
24 清水建設株式会社 北陸支店	056
25 ダイダン株式会社 北陸支店	058
26 d&i 大黒屋新社屋	060
27 H'O梅田茶屋町	062
28 AQ Group本社屋	064
■ 宿泊施設 (ホテル・旅館)	
29 SANU 2nd Home	066
30 ザ ロイヤルパーク キャンパス 札幌大通公園	068
31 禅坊 靖寧	070
32 Entô	072
33 CONTEXTED (コンテクステッド)	074
34 THE HIRAMATSU 京都	076
35 山荘・天の里	078
36 ホテルインディゴ軽井沢	080
■ 観光・交流施設	
37 奈良県コンベンションセンター	082
■ 子育て・学習施設	
38 KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE	084
39 シェルターインクルーシブプレイス コバル (山形市南部児童遊戯施設)	086
40 檜原森のおもちゃ美術館	088
41 Toyota Technical Center Shimoyama 環境学習センター	090
■ 保育園・幼稚園・認定こども園	
42 浦河フレンド森のようちえん	092
43 HN Nursery	094

木造	44	「だんだん」保内児童センター・保内保育所	096
	45	山五十嵐こども園	098
	46	京丹波町立たんばこども園	100
	47	福島こども園	102
	48	ゆりのき保育園	104
		学校	
	49	江東区立有明西学園	106
	50	東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパス食品加工教育実習棟	108
	51	上智大学四谷キャンパス15号館	110
	52	鹿沼市立栗野小学校	112
	53	東松島市立宮野森小学校	114
	54	桐朋学園宗次ホール	116
	55	流山市立おおぐろの森中学校	118
	56	岡山大学共育共創コモンズ(OUX:オックス)	120
	57	立命館アジア太平洋大学Green Commons	122
		病院・福祉施設	
	58	新柏クリニック	124
		公共施設(駅舎・交通関係施設含む)	
	59	屋久島町庁舎	126
	60	みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」	128
	61	南陽市文化会館	130
	62	五條市上野公園総合体育館(シダーアリーナ)	132
	63	南会津町新庁舎	134
	64	大船渡消防署住田分署	136
	65	小林市庁舎	138
	66	みやこ下地島空港ターミナル	140
	67	高畠町立図書館	142
	68	東急池上線旗の台駅	144
	69	開成町庁舎	146

木造	70	長門市本庁舎	148
	71	六甲最高峰レストスペース	150
	72	設楽町奥三河郷土館	152
	73	あわくら会館	154
	74	京丹波町役場 新庁舎	156
	75	木曽町役場	158
	76	香美市立図書館 かみーる	160
	77	阿蘇くまもと空港新旅客ターミナルビル	162
	78	小鹿野町役場 新庁舎	164
		工場・倉庫	
	79	スマート倉庫®	166
	80	株式会社眞栄 熊野作業所工場棟	168
	81	ガイアフロア静岡蒸溜所	170
	82	株式会社オーシカ大阪事業所 第二倉庫	172
		寺社・仏閣	
	83	神田明神文化交流館 EDOCCO	174
	84	風の音 Sound of wind	176
		集合住宅	
	85	FLATS WOODS 木場	178
	86	徳島県新浜町団地 県営住宅2号棟	180
	87	アープル自由が丘	182
	88	警固竹友寮	184
木質化		店舗・商業施設	
	89	ごはんや一芯 京都店	186
	90	浜松いわた信用金庫 駅南・海老塚支店	188
	91	アレーデ神宮前	190
		オフィス・会議施設	
	92	ITOKI Design House(イトーキ デザイン ハウス)	192
	93	大和ハウスグループ みらい価値共創センター	194

■ 観光・交流施設・宿泊施設		
94 静岡県富士山世界遺産センター	196	
95 北こぶし知床ホテル&リゾート UNEUNA/KAKUUNA	198	
96 まるくアイズ	200	
97 ハレミライ千日前	202	
■ 子育て・学習施設		
98 高島町屋内遊戯場もっくる	204	
■ 学校		
99 小牧市立小牧南小学校	206	
■ 病院・福祉施設		
100 南風原の老人福祉施設	208	
101 愛媛県立新居浜病院	210	
■ 公共施設(駅舎・交通関係施設含む)		
102 砺波市立砺波図書館	212	
■ 可動空間		
103 えちごトキめきリゾート雪月花	214	
104 クルーズトレイン「ななつ星in九州」	216	
■ 街づくり・公園・庭園		
105 渋谷区立北谷公園	218	

事例詳細	220
あとがき	231

本誌の見方



① 事例の分類について

本書は、ウッドデザイン賞データベースを参考に、木材の使用部位・用途ごとに分類した掲載順となっています。なお、分類の定義は以下の通りです。

木造	建築物の柱や梁、小屋組みなどの主要な構造部分に木材を使っているもの。 RC+木、S+木などの混構造を含む。
木質化	建築物の壁・床などの内装や外壁といった非構造部分に木材を用いているもの。

② DATA欄

「主な樹種・木質材料」について

国産材を中心に、主要部位に使われた樹種や木質材料の種類、産地が特定できるものは()内に都道府県や市町村名を記しています。また、一定のブランドとして認知されている樹種についてはブランド名を記しています。

「炭素貯蔵量」について

林野庁で作成されたガイドラインにより、以下の方法で算出した数値を掲載しております。

$$Cs=W \times D \times Cf \times 44 / 12^{*}$$

Cs:建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量(t-CO₂) (製材のほか、集成材や合板、木質ボード等の木質資材を含む。)

W:建築物に利用した木材の量(m³) (気乾状態の材積の値とする。)

D:木材の密度(t/m³) (気乾状態の材積に対する全乾状態の質量の比とする。樹種や製品による。)

Cf:木材の炭素含有率(木材の全乾状態の質量における炭素含有率とする。樹種や製品で異なる。)

※44/12:炭素量を二酸化炭素量に換算